

平成27年度事業報告(総務企画課)

事業名 井手の魅力再発見事業(新規)

事業の概要・経緯

【概要】

中央区の中心部を流れる井手への関心を高めることにより、その魅力を地域のまちづくりに活用するもの。

平成27年度は、熊本大学政策創造研究教育センターに調査研究業務委託を行い、「大井手の楽校」を開催するとともに、大井手の楽校フィールドノートを作成した。

また、大井出のぼりを製作し、イベント等の際にPRが出来るようにした。

【経緯】

大井手の楽校の開催

- ・第1回 8月31日 ワークショップの開催
- ・第2回 10月27日 里川歩きのための試歩、ワークショップの開催
- ・第3回 11月28日 里川歩きの実施(参加者約40名)
- ・第4回 12月 6日 ワークショップの開催
- ・第5回 1月29日 シンポジウムの開催(市民会館・参加者約60名)
- ・第6回 3月 1日 ワークショップの開催

事業の成果・反響

【成果】

- ・平成28年3月末に、大井手の楽校フィールドノート 3,000部が完成したことから、4月に区役所や公民館に配備するとともに、7月に井手沿いの託麻原小学校に配布した。
- ・大井手のフィールドノートは、地域の歴史遺産を身近に学ぶ教材として、実際に歩いてもらい、その体験を書き込んでもらうオリジナルの手帳として活用できるようにしている。
- ・平成28年4月13日付けの地元新聞に、「大井手の価値 学ぼう」との記事が掲載されたことにより、大井手に対する関心が高まった。
- ・平成28年度も熊本大学政策創造研究教育センター及び地域の関係団体等と連携して、事業を展開していく予定

8月31日 ワークショップ



11月28日 里川歩き



1月29日 シンポジウム

